

『親プロ』 利用プロセス

勝央町教育委員会

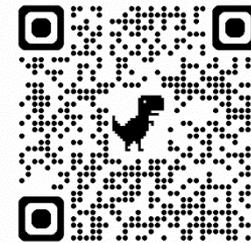
親プロとは

- 「親育ち応援学習プログラム（通称：親プロ）」は、幅広い年代の方を対象にした「親育ち」を応援するために岡山県教育委員会が開発したプログラム
- 講師の話に参加者が一方的に聞いて学ぶのではなく、身近なエピソードや資料などをもとに参加者同士が話し合い、交流しながら、主体的に学ぶ、「参加型の学習プログラム」
- ファシリテーター（学習活動を支援し促進する人）が、アクティビティ（学習活動）を進行していきます。

プログラム内容

- 5つのステージ、39の学習プログラムで構成
- 年代の方を対象に、子どもの年齢や発達課題等に応じて内容を設定

プログラム内容（県ホームページ▶▶▶▶



利用方法 (助成金を活用する場合)

実施主体 (PTAなど)

① 「親プロ」活用意向

- ・日時
- ・場所
- ・対象
- ・プログラム内容

④ 紹介

- ・連絡先など

⑤ 助成金申請

- ・申請書提出

⑥ 決定通知

⑨ 実績報告

- ・申請書提出

⑦ 連絡・調整

- ・日時
- ・場所
- ・対象
- ・プログラム内容
- ・実施方法 など
- ・請求書の記入依頼

⑧ 実施

- ・請求書の提出

教育委員会

② 選定

- ・日時
- ・場所
- ・対象
- ・プログラム内容
- ・講師料

③ 承諾

⑩ 講師料支払

講師

家庭教育に関する学習会事業助成

▶ 講師に対する謝礼金及び報奨金等を助成するもの

区分	1時間あたりの金額（税込）	識別
講師	11,500円	大学教授、中央官庁の局部長、民間の著名専門家 例：臨床心理士、弁護士、医師、ジャーナリストなど
	9,000円	大学准教授、中央官庁の課長、民間の専門研究員 例：〇〇研究所の所長、NPO代表など
	7,000円	大学講師、中央官庁の課長補佐、元市（区）PTA協議会役員 例：〇〇研究所の所長、NPO代表など 親プロファシリテーター
	4,500円	団体役員、中央官庁の主任、民間の技術者 例：ボランティアグループのメンバー
本町職員	0円	

- 1団体あたり上限30,000円
- 複数の講師への謝礼金は、基準額の8割以内。（講師補佐（助手）は、基準額の5割以内）
- 謝礼金の手取り額は所得税10.21%を差し引いた額

※参考 報償費（謝礼金）の例

	講座時間	講師人数	謝金額	合計
パターン1	1時間	1名	7,000円	7,000円
パターン2	1.5時間	1名	10,500円	10,500円
パターン3	1時間	2名（講師）	1人当たり5,600円	11,200円
パターン4	1.5時間	2名（講師）	1人当たり8,400円	16,800円
パターン5	1時間	3名（講師）	1人当たり5,600円	16,800円
パターン6	1.5時間	3名（講師）	1人当たり8,400円	25,200円